

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

施設担当課

教育総務部中央図書館

施設名称

中央図書館

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

2021年度

所在地

郡山市麓山一丁目5-25

定量評価結果概要 (担当：行政マネジメント課)

【前提条件】

- ①「大規模改修」及び「建替」の2パターンについて、「従来型手法」と「PFI手法」の比較
  - ②事業方式：「BT0 (Build Transfer Operate) 方式 (PFI法)」により計算
  - ③事業期間：施設整備期間を「1年」及び「2年」の2パターン、維持管理運営期間15年
  - ④収入項目：イコールフットィングの観点から、「従来型手法」と「PFI手法」いずれもゼロ円で計算 (補助金・交付金・起債)
  - ⑤簡易計算：国土交通省「VFM簡易計算ソフト」により算出
- 【VFM】大規模改修：施設整備期間が1年の場合8.7%、2年の場合8.6%  
建替：施設整備期間が1年の場合11.6%、2年の場合11.6%

定性評価結果概要 (担当：施設所管課)

本施設整備へのPPP/PFI手法の導入は、プロセスの透明性・公平性、民間事業者のノウハウ活用、市民サービスの向上、市の業務量の縮減など、従来手法と比較し、多くの面で有効性が高いものの、現在、令和3年2月発生の福島県沖地震被害からの早期復旧に向けた緊急的な修繕工事を進めており、検討開始年度となる令和3年度においては、PFI手法による整備検討に要する時間的猶予が乏しい状況にある。

総合的な評価結果 (担当：施設所管課)

本施設は、定性評価の結果、従来手法と比較し、PPP/PFI手法の導入による有効性は高いものの、検討開始年度である令和3年度において、令和3年2月発生の福島県沖地震被害からの復旧に向けた修繕を行っている。  
また、令和4年3月発生の地震により新たな被害も発生しており、施設再開に向けた追加の復旧修繕を予定している。  
このようなことから、今後、耐震化及び復旧修繕等を行った本施設の長寿命化と予防保全等を図りながら、本施設西側に令和6年度竣工予定の(仮称)郡山市歴史情報・公文書館など、麓山地区公共施設の整備状況を踏まえながら、引き続きPPP/PFI導入の可能性について検討していく。

次の検討段階

災害復旧に係る修繕を実施し、引き続きPPP/PFI導入の可能性について検討する。

備考

- 1 VFMの計算時、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均を採用